

平成21年度（財）都市化研究公室研究・活動助成
研究・活動報告書

研究・活動課題

「地方都市福井における公共交通のあり方」

～モビリティウィーク&カーフリーデーを通じた市民への啓発活動を中心として～

平成22年3月

NPO法人 ふくい路面電車とまちづくりの会

目 次

はじめに

第1章 研究・活動の概要	01
1 - 1 背景と目的	
1 - 2 研究・活動の概要	
1 - 3 実施体制	
第2章 研究・活動の実施	10
2 - 1 モビリティセンター	
2 - 2 レンタサイクル&自転車案内センター	
2 - 3 MW&CFDパネル展	
2 - 4 公共交通に関するシンポジウム・トークショー	
2 - 5 かしこい公共交通の使い方に関する作文募集・表彰	
2 - 6 自転車の展示試乗会の開催	
2 - 7 実行委員会参加団体との連携した取り組み	
第3章 研究・活動成果の普及と情報発信	26
3 - 1 事前広報での官民連携による情報発信	
3 - 2 公共交通の作文・小論文受賞作集の発行を通じた情報発信	
3 - 3 わがまちLOVEアースコンテストを通じた情報発信	
3 - 4 MW&CFD日本アワードを通じた情報発信	
3 - 5 メディアとの連携支援事業によるマスコミを通じた情報発信	
第4章 研究・活動の事後評価と課題	41
4 - 1 MW&CFDの事後評価	
4 - 2 MW&CFDから見てきた福井の公共交通体系の課題	
第5章 今後の活動の展開方向	50
5 - 1 MW&CFDを踏まえた今後の活動方針	
5 - 2 検討懇談会による外部評価を踏まえた今後の展開方針	

第1章 研究・活動の概要

研究・活動課題：

「地方都市福井における公共交通のあり方

～ モビリティウィーク&カーフリーデーを通じた市民への啓発活動を中心として ～」

モビリティウィーク&カーフリーデーとは

モビリティウィーク&カーフリーデー（以下「MW&CFD」）とは、ヨーロッパカーフリーデー、カーフリーデー・ジャパンが提唱し、世界2千数百都市で実施されている。

ヨーロッパでは、毎年9月16～22日に「ヨーロッパモビリティウィーク」という社会的なイベントが行われています。環境問題を都市交通の面から対処していくため、また街に人中心の賑わいを創り出していくため、「車の使い方」を見直そうというものです。カーフリーデーはこのプロジェクトの中心イベントで、都心部において1日マイカーを使わない地区を創り出し、市民一人一人が車のない都市環境を体験しその変化を実感し考えるよう社会啓発します。新しい交通施策を展開させていく日ともなります。

1 - 1 背景と目的

NPO法人ROBAとして今年で3年目を迎えるMW&CFD事業において、これまで継続して取り組んでいる「地方都市福井における公共交通のあり方研究」をステップアップする事業として位置づけ、以下の目標を持って取り組んだ。

「モビリティ・センター」の実証

公共交通事業者との連携

イベントの事前、事後の情報発信

公共交通のあり方を考える取り組み

「モビリティ・センター」の実証

昨年の調査研究において継続的な啓発活動として位置付けた、公共交通情報の発信と意見の収集を推進する、市民主導型「福井版モビリティ・センター」を実践することが、最も大きな目的である。ここでは、モビリティ全般に関する情報を提供し、同時に苦情対応の場として機能させることにより、積極的なモビリティ・マネジメント（MM）が可能となり、実際の運営を通じてこれらを検証する。

公共交通事業者との連携

これまでのMW&CFDは市民団体のみとの連携による活動であったため、それからさらに一歩進めて、今年度は交通事業者や行政、TMOを加えた、連携による取り組みを目標とした。これは、既存の公共交通のハードとソフトが、効率性の名のもとに廃止や削減され、ますます利用者ニーズと乖離しているなかで、NPO単独で情報や案内を充実させても限界があり、交

通事業者や行政と共にハードやソフトの実験的な取り組みを通じて、一步でも前進させるきっかけとしたいためでもあった。

イベントの事前、事後の情報発信

これまで不足しがちであったマスコミを通じた県民全般への情報発信を充実させ、イベント開催の前後において継続的な情報発信を行うことを目標とした。それによって、日ごろ公共交通を利用してない人たちにも、「クルマを置いて街に出てみよう」という取り組みを理解していただくきっかけとしたいためである。

公共交通のあり方を考える取り組み

MW&CFDふくい2009を福井市にて開催することにより、9月16日～9月22日をクルマに頼らない移動を一人ひとりが考え行動する週間とし、車依存の生活スタイルをあらため、地域交通改善、公共交通の利用促進に関する機運の盛り上げを図る。とくに、今後クルマを持つことになる中高生に照準をあて、かしこい公共交通の使い方の作文募集などの取り組みにより、公共交通を考えてもらう機会を作ることを目的とする。

1 - 2 研究・活動の概要

モビリティウィーク&カーフリーデーふくい2009 “クルマをにおいてホジロバ交通で街にしよう！”

実施期間

平成21年9月16日～9月22日に、各種イベントをおこない、クルマに頼らない『ホジロバ交通』イベントとした。

16日～18日 通勤にクルマを使わない日

19日	徒歩の日	ホ	
20日	バスの日	バ	全国「バスの日」
21日	電車の日	ロ	
22日	自転車の日	ジ	全国・世界「カーフリーデー」

概 要

近年、クルマに依存することによる、環境面や財政面、高齢社会の移動制約などの面における弊害が社会問題として広く認識されるようになってきている。しかし、現在住民の生活パターンやそれを反映して実施されるまちづくり等の施策において、この問題への配慮が必ずしも十分になされているとは言いがたい。そして、この問題への対応においては住民の深い理解と住民参加が必要であることから、広範な情報提供を行うことによって住民の意識を醸成することが求められている。

そのためヨーロッパを中心に、毎年9月16日～9月22日に、多くの都市(2008年は2102都市)が参加して、モビリティウィーク&カーフリーデーの催しが一斉に開催され「クルマに依存しない生活」についての啓発が行われてきた。

福井でもROBAが中心となって、まちづくりや環境系NPOに参加を呼び掛け、2007年からこの取り組みに参加し、2008年には全国路面電車サミット 2008 福井大会を同時開催して、住民に対して広く情報発信し啓発を行った。

開催場所 福井市内一円

(メイン会場:福井市役所1F、福井駅西口広場、アップルロードの一部等)

実施内容

(1)「モビリティセンター」の運営(9月19日～22日)

バス・電車案内センター運営

「のりのりマップ」を通して、福井市内に発着するバス・電車を中心に運行に関する案内を行った。また、各個人別の希望ルートに応じた「マイ時刻表」を作成し、移動の手助けとした。

観光スポット案内、まちなか店舗案内

まちなかの優良店舗や市内観光スポットを含んだマップの作成及び配布を通して、車以外の移動手段によるまちなか散策を促すことを目的とした。

- (2) レンタサイクルの運営 (9 月 19 日 ~ 22 日)
自転車案内センター
「りんりんマップ」を通して、自転車の利用しやすい道路の紹介や、
自転車で行けるまちなか周辺の観光や各種施設の案内などを行った。
無料レンタサイクル
放置自転車や不要自転車のリサイクル自転車 (福井市、福井県管理
の 12 台) を活用して無償でレンタサイクル事業を実施した。
また、隣の広場では、待ち時間などを利用して自転車を楽しんでも
らえるよう、自転車タクシーやエコ丸くんの試乗会を行った。
- (3) 公共交通や M W & C F D の広報・啓発の実施
ヨーロッパのカーフリーデーの実例や国内のカーフリーデーの紹
介・啓発のためのパネル展示や、福井市が目指しているよりよい公共
交通のあり方を示した交通施策などを、パネルでの展示やリーフレッ
トの配布等で広く市民に広報した。
- (4) シンポジウム & トークショーの開催 (9 月 19 日)
響のホールで今尾恵介氏 < 地図研究家 > の講演 & トークショーを開
催した。
- (5) 公共交通社会に関する作文募集 & 表彰の実施 (9 月 19 日)
中高生による公共交通社会に関する作文・小論文を事前に募集し、
M W & C F D にあわせて、優秀者の表彰式を実施した。
表彰式は、シンポジウム & トークショーと併せて行った。
- (6) 自転車の展示試乗会の開催 (9 月 22 日)
自転車の利用促進を図るため、電動アシスト自転車、優良自転車、
3 人乗り自転車の展示及び試乗を実施し、併せて簡易修理や改正され
た自転車関係のマナー・法規などの啓発を行った。
- (7) 実行委員会参加団体との連携した取り組み
バスの乗り方教室の実施 (9 月 20 日)
9 月 20 日が「バスの日」でもあり、福井県バス協会と協働で勝木書
店西側において運賃の支払い方や乗車マナー、車椅子の乗車体験など
親子、家族連れを中心に実施した。
- バス・電車の運賃割引に合わせたイベントの実施 (9 月 20 日、21 日)
福井大学の学生と協働で、バス・電車の運賃割引に合わせた乗車体
験イベント「モビリティ・クエスト」を、小中学生を中心に実施した。
9 月 20 日は京福バスと福鉄バスの子ども運賃を県内どこでも 1 乗車
100 円としたため、バスを利用したイベントとした。
9 月 21 日はえちぜん鉄道と福井鉄道の子どもの 1 日フリー乗車券を
100 円としたため、電車を利用したイベントとした。
- ハチドリ計画の実施 (9 月 22 日)
9 月 22 日のカーフリーデーは、N P O 法人エコプランふくいと連携
した C O 2 削減への取り組みを行った。

Improving City Climates
都市の気候改善

"In town, without my car!"

「モビリティウィーク」&「カーフリーデー」 ふくい2009

モビリティウィークとは……
マイカーの無い日をお祝いする機会として、9月16日～22日の7日間を「モビリティウィーク」と名づけました。この期間にはクルマの利用を少しの工夫で徒歩・自転車・公共交通を使ってみませんか。

カーフリーデーとは……
まちの一定区域でクルマの無い空間をつくり、クルマの走る空間との違いを体験することで、「車と歩行者」「車と都市生活」の関係を再考する機会にしようとする世界的なイベントです。

モビリティウィーク&カーフリーデー関連イベント

<p>9月</p> <p>16 水</p> <p>17 木</p> <p>18 金</p>	<p>通勤にマイカーを使わない日</p> <p>チャレンジ！ この3日間のうち最低1日は徒歩や自転車・電車・バス(ホジロバ)で通勤してみよう</p> <p style="background-color: yellow; text-align: center;">毎週金曜日はカーセーブデーだよ！</p>	<p>世界・日本のカーフリーデーパネル展</p> <p style="background-color: blue; color: white; text-align: center;">場所 福井市役所 1Fホール</p>
<p>19 土</p>	<p>徒歩の日</p> <p>今尾恵介氏による講演やトークショー、公共交通に関する作文の表彰式</p>	<p>『かしこい公共交通の使い方』</p> <p style="background-color: blue; color: white; text-align: center;">場所 響のホール</p> <p style="background-color: blue; color: white; text-align: center;">時間 13:30～17:00</p>
<p>20 日</p> <p style="font-size: small;">バスの日</p>	<p>バスの日</p> <ul style="list-style-type: none"> ●京福、福鉄の路線バス 子ども運賃一乗車 100円 期間 福井県内一円 ●京福、すまいるバス 子ども1日フリーバスで 景品 期間 福井市内 ●バスの乗り方教室開催！ 期間 藤木書店の西側 	<p style="background-color: yellow; text-align: center;">まちなかコンサート♪</p> <p>モビリティクエストI</p> <p>20日～21日 電車やバスを使って福井を冒険しよう！ いろいろなナゾを君はとけるか！！</p> <p style="background-color: orange; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center; font-size: x-small;">JR福井駅西口広場 モビリティセンターに集合だ！</p>
<p>21 月(祝)</p>	<p>電車の日</p> <p>えち鉄、福鉄の子ども1日フリーきっぷ 100円</p> <p style="background-color: blue; color: white; text-align: center; font-size: x-small;">場所 えちぜん鉄道・福井鉄道全路線</p>	<p>モビリティセンター</p> <p>19日～22日毎日実施！</p> <p style="background-color: blue; color: white; text-align: center;">場所 JR福井駅 西口広場</p> <p style="background-color: blue; color: white; text-align: center;">時間 10:00～17:00</p>
<p>22 火(祝)</p> <p style="font-size: x-small;">カーフリーデー</p>	<p>自転車の日</p> <p>この日はカーフリーデー、車が通らない道路でいろいろな自転車を体験してみよう。</p> <p style="background-color: blue; color: white; text-align: center; font-size: x-small;">場所 アップルロード(西武の東側道路)</p> <p style="background-color: blue; color: white; text-align: center; font-size: x-small;">時間 10:00～17:00</p>	<p>店舗・観光案内</p> <p>まちなか店舗、観光スポット案内しています。</p> <p>自転車タクシー試乗</p> <p>自転車タクシーの試乗会をしています。(エコ丸くんがやってくる！)</p>
<p>ハチドリ計画2009</p> <p>ハチドリ計画の抽選会もやってくるよ！</p> <p style="font-size: x-small;">アップルロードでこんなことをやっているよ！</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 3人乗り自転車試乗会(乗りくらべ) ⇒ 電動アシスト付自転車試乗会 ⇒ 優良デザイン自転車試乗会 		<p>カーフリーデーパネル展</p> <p>カーフリーデーのパネル展をしています。</p>

主催：モビリティウィーク&カーフリーデーふくい2009実行委員会
 共催：えちぜん鉄道、京福バス、福井鉄道、まちづくり福井、NPO法人エコプランふくい、福井市環境パートナーシップ会議
 FBC福井放送、NPO法人ふくい路面電車とまちづくりの会
 後援：カーフリーデージャパン、福井県、福井市、中部運輸局福井運輸支局、福井県バス協会

1 - 3 実施体制

実施にあたっては「モビリティウィーク&カーフリーデーふくい2009実行委員会」を組織し、各団体が連携して有効なイベントが実施できるよう、合計8回の実行委員会を開催し、ROBAはその事務局として合計20回以上の事務局会議を行い、全体計画や個別計画などの原案作りを行った。

実行委員会のメンバーは順次追加され、最終メンバーは、福井鉄道、えちぜん鉄道、京福バス、まちづくり福井(株)、FBC福井放送、NPO法人エコプランふくい、福井市環境パートナーシップ会議、福井大学川本研究室、NPO法人ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)の9団体となった。

主 催 :

モビリティウィーク&カーフリーデーふくい2009実行委員会

共 催 :

福井鉄道、えちぜん鉄道、京福バス、まちづくり福井(株)、FBC福井放送、NPO法人エコプランふくい、福井市環境パートナーシップ会議、NPO法人ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

後 援 :

カーフリーデージャパン、国土交通省中部運輸局福井支局、福井県、福井市、福井県バス協会

事務局 :

NPO法人ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

これまでの市民団体のみとの連携による活動から一歩進めて、今年度は交通事業者や行政、TMOを加えた、連携による取り組みを目標とした。既存の公共交通のハードとソフトが、効率性の名のもとに廃止や削減され、ますます利用者ニーズとかい離しているなかで、NPO単独で情報や案内を充実させても限界があり、交通事業者や行政と共にハードやソフトの実験的な取り組みを通じて、一歩でも前進させるきっかけとしたいためでもあった。

そのため、実行委員会方式により交通事業者・行政への参画を求めたところ、主要な交通事業者である、えちぜん鉄道、福井鉄道の電車事業者、京福バス、福鉄バス、TMOまちづくり福井(すまいるバス)のバス事業者の参画を得ることができた。行政は実行委員会には参画しなかったものの、アドバイザーとして支援を得ることができた。

運営団体としての実行委員会が、民間団体による組織体制であったことは逆に柔らかな運営が可能となり、事業内容の検討や変更、あるいはFBC福井放送のメンバー追加などもスムーズに対応できたともいえる。

また民間団体の特色を活かし、それぞれが活躍できる日を設定した事業内容とすることができたことが、利用者にとっても分かりやすく参加しやすいイベントとなり、その後の「ふるさとLOVEアース福井大会」での銅賞受賞や、「カーフリーデージャパン2009アワード」での「まちづくり貢献賞」の受賞など、高い評価にもつながったといえよう。

事業の内容と運営主体について
ROBAが主体となっていた事業

イベント名		実施期間	実施場所	運営主体	協力	事業規模 (対象者・参加人数)	広報 (広報対象者・広報手段)	スタッフ数
モビリティセンター	バス・電車案内	19～22日(4日間)	福井駅西口広場	ROBA	川本研究室(福井大学)	県民および県外からの来訪者 約400人	広報対象者： 主に福井県民 広報手段： ・福井市政広報 ・福井新聞 ・当会ホームページ ・カーフリーデー ・チャラシの配布 (鉄道・バスの各駅、行政施設、市内一部の中学・高校等)	12人
	マイ時刻表作成							
	観光スポット・まちなか店舗案内							
	自転車案内センター							
レンタサイクル	無料レンタルサイクル	16～18日(3日間)	福井市役所1F市民広場	ROBA	-	市役所を訪れた市民、職員 約300人		4人
	自転車タクシー試乗							
	エコ丸くん試乗							
シンポジウム・トークショー	19日	響のホール	ROBA	実行委員会	県民および県外からの来訪者 60人		5人	
	7,8月							-
公共交通社会に関する作文	作文表彰式	19日	響のホール	ROBA	実行委員会	中高生からの応募数 683人		3人
カーフリーデーりんりん広場		22日	アップルロード	ROBA	サイクルオートサカイ	県民および県外からの来訪者 200人		4人

他団体が主体となってROBAと連携して行った事業

イベント名	実施期間	実施場所	運営主体	協力	事業規模 (対象者・参加人数)	広報 (広報対象者・広報手段)	スタッフ数
まちかどコンサート	19日	福井駅西口広場	福井センター合唱団+ラブリーズ	ROBA	県民および県外からの来訪者 50人	広報対象者： 主に福井県民	-
バスの乗り方教室	20日	勝木書店西側市道	・県バス協会 ・京福バス	ROBA	県民および県外からの来訪者 160人	広報手段： ・福井市政広報 ・福井新聞 ・当会ホームページ	5人
子どもとバスミニツアー	20日	福井県内	バス事業者	-	主に福井県民	・カーフリーデー ・ジャパンホームページ	-
モビリティ・クエスト	20・21 (2日間)	福井県内	川本研究室(福井大学)	-	主に福井県民 60人	・チラシの配布	5人
子どもと電車ミニツアー	21日	福井県内	鉄道事業者	-	主に福井県民	(鉄道・バスの各駅、行政施設、市内一部の中学・高校等)	-
ハチドリ計画2009	22日	アップルロード	エコプランふくい	ROBA	福井県民 140人		4人

第2章 研究・活動の実施

9月16日～22日の7日間において、各種イベントを関係者の協力を得ながら実施した。それぞれの具体的な内容と、事後評価は以下のとおりである。

2-1 モビリティセンター

JR福井駅西口に「モビリティセンター」を設置し、移動に関する情報提供（ルート・運賃・観光・乗継等）や相談を行なった。

場所：福井駅西口交通広場

日程：9月19日（土）から9月22日（火）まで

バス・電車案内センター

内容：バス乗り場・路線・行きかた等を案内する。

イ.のりのりマップの配布

ロ.ばす・でんしゃナビふくいの検索体験

ハ.マイ時刻表を作成して贈呈する。

観光スポット・まちなか店舗案内

内容：既存の商店街などの各種マップ取り揃えて、市内観光スポットおよびまちなか店舗を総合的に案内する。

モビリティセンターへの来場者

総来訪者数	320人
19日来訪者数	35人
20日来訪者数	93人
21日来訪者数	102人
22日来訪者数	90人



バス・電車の案内については、ROBA発行の『のりのりマップ』を使ったり、既存の観光案内チラシを使ったりして実施した。

さらに、具体的な時刻を知りたいときには、次のコーナーで、「ばす・でんしゃナビふくい」の検索体験や、「マイ時刻表」を作成して贈呈するなどの対応を行った。

発地 市波駅 市波				目的地 福井駅 福井駅前				発地 福井駅前 福井駅前				目的地 市波駅 市波				
平日				平日				平日				平日				
会社	JR西日本	京福バス		会社	JR西日本	京福バス		会社	JR西日本	京福バス		会社	JR西日本	京福バス		
乗車	市波駅	市波		乗車	福井駅	福井駅前		乗車	福井駅前	福井駅前		乗車	福井駅前	福井駅前		
路線	越美北線	55a	55b	58	路線	越美北線	55a	55b	58	路線	越美北線	55a	55b	58		
降車	福井駅	福井駅前		降車	市波駅	市波		降車	市波駅	市波		降車	市波駅	市波		
時間	24分	28分	34分	32分	時間	24分	28分	34分	32分	時間	24分	28分	34分	32分		
運賃	320円		680円		運賃	320円		680円		運賃	320円		680円			
3	福43				3	福43				3	福43					
4		28			4		28			4		28				
7	福17	01:29		52	28	7	福17	01:29		52	28	7	福17	01:29		22
8	福58	15	30			8	福58	15	30			8	福58	15	30	
9			30		27	9			30		27	9			30	
10	福43	00				10	福43	00				10	福43	00		
11	福59	00				11	福59	00				11	福59	00		42
12		00				12		00				12		00		
13		00		33		13		00		33		13		00		02
14		00				14		00				14		00		
15	福34	00				15	福34	00				15	福34	00		52
16		00				16		00				16		00		02
17	福36	00	30		43	17	福36	00	30		43	17	福36	00	30	52
18		00	30			18		00	30			18		00	30	12
19	福47	00	31			19	福47	00	31			19	福47	00	31	52
20		01	31			20		01	31			20		01	31	52
21	福57					21	福57					21	福57			47
22						22						22				32
23						23						23				

越美北線／福井駅行
 55a大野線(松津-若山線)／福井駅前行
 55b大野線(若木新築-川上線)／福井駅前行
 58池田線／福井駅前行、小・小野線水行

「マイ時刻表」は、利用者の公共交通利用に応じて、そのニーズに合ったオーダーメイド型の時刻表作成サービスです。

福井県の時刻検索システム「ばす・でんしゃナビふくい」<http://koutsu.pref.fukui.jp/>と連携して、(財)日本開発構想研究所と共同で開発し今回初公開したのですが、新たに出てきた利用者の要望を活かして、より利用者ニーズに合ったものに改良することになりました。

(A地点とB地点が福井駅周辺をはさむ場合に、これまでは別の2つの時刻表を提供していたが、1枚に納めて欲しいという要望に対応することになり、使い勝手が向上することになった。)



観光スポット・まちなか店舗案内については、各施設や行政などが発行してパンフレットやチラシの中から、モビリティ・センターからの案内が可能なものを選んで配置した。観光客がバスや電車の乗り場を聞いたり、観光地への行き方や、どのルートを選択するのが良いか、越美北線の列車の待ち時間内に回れる市内の観光スポット、さらには福井名物の蕎麦やソースカツ丼、魚介類を食べられる店の紹介を依頼されるケースが多かった。

きめ細やかな案内が大変喜ばれ、移動の手助けとなる、人による案内の重要性を痛感した。(このうち、まちなか案内については、この後、関連市民団体と行政とにより引き継がれた)

2 - 2 レンタサイクル&自転車案内センター

内容：レンタサイクルを行い、近郊移動の利便性を体験してもらう。また、まちなか観光としての移動手段として利用してもらう。県のみどりの自転車5台および市観光開発室の自転車7台を使用。りんりんマップを使い安全な自転車通行を啓発。自転車で行ける市内観光ツアーの紹介。

場所：福井駅西口交通広場

日程：9月19日(土)から9月22日(火)まで

	<p>受付のようす</p> <p>預かり金と、緊急連絡先を記入して、実質ゼロ円のレンタサイクル。</p> <p>ついでに、プチ観光の案内も、1時間コース、2時間コース、食事もついでにコースなど、要望にこたえて案内した。</p>
	<p>駅前から、自転車を気軽に借りて、ちょっとそこまで、買物やプチ観光に出かけていってもらいました。</p> <p>「助かりました、いつもやってもらうといいのに、今日だけですか」という声が多かった。</p> <p>CO2削減にも大いに貢献できた。</p>
	<p>レンタサイクルを利用するだけの時間がない人には、自転車に親んでもらい、クルマからの転換のきっかけとなるよう、「自転車タクシー」や「エコ丸くん」の試乗会を催した。</p>

2 - 3 モビリティウィーク&カーフリーデーパネル展

社会全体から市民の皆さんへの提供が極端に不足している「公共交通とまちづくり」についての情報をわかりやすいビジュアルを交えた大型のパネル文書で示し、啓発を行います。パネルは、ROBA作成のパネル、カーフリーデージャパン作成の資料をパネルにしたもの、福井市作成の福井市都市交通戦略パネル、同じく北陸新幹線パネル、そして、福井大学川本研究室作成のパネルで構成します。

場所：市役所1階ロビー（9/16～18）、駅西口交通広場（9/19～22）

日程：9月16日（水）から9月22日（火）まで

内容：パネル展示、資料提供などで必要な情報を提供し、啓発を行う。

<市役所1階会場> 9/16～18

常駐はなし。告知・周知が中心。

モビリティウィーク&カーフリーデー告知パネル 1枚

カーフリーデージャパン「モビリティウィーク&カーフリーデー2008」パネル 4枚
「乗って支える」「ホジロバ交通のすすめ」

計7枚

<モビリティセンター会場> 9/19～22

モビリティセンター担当メンバーが交代で説明、質問への回答にあたり、啓発する。

モビリティウィーク&カーフリーデー告知パネル 1枚

カーフリーデージャパン「モビリティウィーク&カーフリーデー2008」パネル 4枚

「人と環境にやさしいLRT」「LRTのしくみ」「ポートランド」「ストラスプール1」
「ストラスプール2」「ストラスプール3」「カールスルーエ」「ザールブリュッケン」
「富山ライトレール」「国内各地」「乗って支える」「ホジロバ交通のすすめ」計12枚
「北陸連携並行在来線等活用市民会議からのお知らせ」

福井市「福井市都市交通戦略」パネル 1枚 福井市「北陸新幹線」パネル 1枚

福井大学川本研究室「路面電車軌道を含む街路空間再配分における街路利用者間意識の相違に関する研究」パネル 1枚

計20枚

イベント事業名	カーフリーデーパネル展
内容	社会全体から市民への提供が極端に不足している「公共交通とまちづくり」についての情報をわかりやすいビジュアルを交えた大型のパネル文書で示し、啓発を行う。
実施日	9月16日～22日 内、16日～18日（市役所1階会場） 19日～22日（モビリティセンター会場）
総来訪者数	モビリティセンターへの来場者 320人

16～18日来訪者数	市役所 1 階会場の来訪者数は不明
実施の効果	<p>市役所 1 階会場では担当者を配置していなかったため、来訪者数は不明であるが、準備・打ち合わせで市役所を訪れる度に観察した限りでは、市職員を中心に、また、市民も熱心に見ていく人がいた。市職員の中にはメモを取っている人も見られ、啓発、情報提供の目的において、それなりに機能したのではないだろうか。</p> <p>モビリティセンター会場では、台風の影響で 19 日から 21 日まで、3 日間、突風が吹き荒れ、最終日は時折雨がぱらついた。そのため、突風でパネルが飛ばされ、破壊し、架台も破損したものが多かったことから、何度も緊急退避を余儀なくされた。全体に風との戦いであった。</p> <p>しかし、掲示している間は、熱心に見ていく人も居られ、モビリティセンターの設置とともにパネル展示をすることの意義を感じた。</p> <p>初日を除き、1 日に 100 人前後がモビリティセンターを利用しており、天候さえ良ければ、もっと多くの市民に見てもらえたはずであり、そうならなかったのが残念である。場所を変えて再度パネル展をやりたい。</p> <p>常設のパネル展示であり、関心のある人を中心に多くの人が覗き込んでいる。パネルには公共交通と環境に関する問題提起が示されており、各人の意識改革 = CO2 削減へのアプローチとしては一定の効果は確認できた。</p>

	<p>市役所 1 階会場は本館と別館の間を往来する通路の脇にあり、さらに、市民課への通路との交差点にある。見学者は市職員が多かったように思う。開催中の市議会との兼ね合い、他の団体との 1 階ロビーの共同使用の関係もあり、出展するパネルの枚数を最小限に絞ることとなったが、それでも、モビリティウィーク&カーフリーデーふくい 2009 のイベント全体の告知と、モビリティウィークやカーフリーデーとは何か、という解説を市役所でできたことが有意義であった。</p>
	<p>福井駅西口は文字通り福井の表玄関である。そこでのパネル展示は意義が大きい。熱心に見ていく人も居て、スタッフも台間を診て説明にあたった。ただ、台風が接近している中、連日、突風が吹き荒れ、パネル展示にはかなり過酷な環境であった。</p> <p>パネルの内容は今回、新たに吟味し、厳選して作成し、あるいは加筆・充実化したものばかりであったので、伝える必要のあることを伝えることができたこと</p>



は大いに意義があった。

また、福井市交通政策室や、福井大学川本研究室とコラボレーションし、一体のパネル展を開催したことは、今後につながる『基礎』になるのではないだろうか。

さらに、今回、モビリティウィーク&カーフリーデーというイベントの中であるがゆえに目指し、打ち合わせを重ねて完成させた『啓発や情報』も貴重である。そして、今後「過度のクルマ依存を見直し、環境にやさしいスタイルで日常生活を再構築しよう」という普遍的な主題を得たことにより、これらのパネルを用いて新たなパネル展を展開していこう、そしてCO2削減に寄与する啓発活動の方向性が確認できたことも、最後に追記しておきたい。



2 - 4 公共交通に関するシンポジウム・トークショー

公共交通の楽しい使い方、楽しみ方の講演（シンポ）と関連したトークショーを開催した。

シンポジウム・トークショー 『かしこい公共交通の使い方』

日時：9月19日（土） 13:30～17:00
 場所：「響のホール」 福井市中央一丁目
 司会：大西友世

開会のあいさつ モビリティウィーク&カーフリーデーふくい2009
 実行委員長 内田桂嗣 13:30

講演 『地図で見る都市の姿と公共交通』 13:35～14:35
 講師 今尾恵介氏（地図研究家）
 （略歴）地図研究家。1959年横浜市生まれ。著書に『地図の遊び方』（けやき出版）『路面電車』（ちくま新書）『住所と地名の大研究』（新潮選書）『地名の社会学』（角川選書）など多数。ベストセラー『日本鉄道旅行地図帳』（新潮社）を監修。現在、日本国際地図学会評議員、関東学院大学非常勤講師。

トークショー 14:45～16:00
 今尾恵介氏
 阿部真由美氏（FBC ラジオパーソナリティ）
 岸本雅行氏（ROBA 理事）
 川上洋司氏（福井大学大学院教授）

イベント事業名	シンポジウム・トークショー 『かしこい公共交通の使い方』
内容	公共交通の楽しい使い方、楽しみ方の講演（シンポジウム）と関連したトークショーを開催した。
実施日	9月19日
来訪者総数	50人
実施の効果	<p>地図研究家・今尾氏による講演は、北陸の3都市（福井、金沢、富山）の歴史的な街の形成と鉄道を中心とする公共交通の成り立ちの後、マイカー依存の生活から離れ地図に現れた路線をたどる鉄道を中心とする移動の魅力を説明しながら、マイカーからのモーダルシフトが環境面から大切であるとされた。これら公共交通に対する基本的な認識が、その後の行動につながっていくと期待できる。</p> <p>トークショーでは、日常の200～300Mの移動でさえ何の疑問もなくマイカーで行なわれている実態。また、現実問題として公共交通を使いたいが、運行本数や終電、乗り継ぎの便などの理由で使えない実態も報告された。そのなかでラジオパーソナリィ阿部氏から、ラジオ聴取者からの生の声として公共交通の必要性を環境問題やまちづくりの観点から必要性を訴えた。当該イベントは来場者へのインパクトというよりラジオ・テレビで報道され市民の心に気づきを訴える効果が期待できる。</p>

2 - 5 かしこい公共交通の使い方に関する作文募集・表彰

かしこいクルマの使い方や公共交通に関する作文を中学生・高校生に作品募集をし、シンポジウム・トークショーの会場で発表・表彰した。

作文・小論文コンクール表彰式・朗読 16:10～16:55
 県内の中学・高校生の作文・小論文の入賞者表彰式と入賞者による朗読
 テーマ「クルマと公共交通のかしこい使い方」

- ・入賞者の発表&賞状・副賞の授与
 - ふくい路面電車とまちづくりの会賞 1名
 - FBC賞 1名
 - えちぜん鉄道賞 1名
 - 京福バス賞 1名
 - 福井鉄道賞 1名
 - まちづくり福井賞 1名
- ・モビリティウィーク&カーフリーデー大賞の発表&賞状・副賞の授与
- ・入賞者作品の朗読
- ・選考委員長 福井大学准教授 川本義海の総評

イベント事業名	作文・小論文コンクール表彰式・朗読
内容	かしこいクルマの使い方や公共交通に関する作文を中学生・高校生に作品募集をし、当日会場で表彰するとともに入賞者の作品を本人が朗読して披露した。
実施日	9月19日
応募総数	680人
来訪者総数	50人
実施の効果	<p>「かしこい公共交通の使い方」という題目で中高校生に募集をかけたところ約680通の応募があった。このことは680人、さらには680の家族に対し、クルマと公共交通について向きあっていただいたことになる。また、入賞6作品、大賞1作品の作品集を製本化して参加された学校に一定数を贈呈する予定である。作品募集、当日の会場、その後の報道、作品集の作成により多くの人々の目に触れることになり過度に依存した車社会への問題提起としての大きな効果になった。</p> <p>今後、中高校生は自動車免許を取得し、マイカーを使用することになるが、この段階で自己啓発としての「かしこい公共交通の使い方」あるいは「かしこいクルマの使い方」を学ぶことは将来のCO2削減に影響を与えるに違いない。</p>

MW&CFD作文・小論文コンクールは今年度が初めての試みである。中高校から多くの作品が寄せられ、一定の役割を果たしたと思われます。今後も中高校やその家族に公共交通を考えてもらうイベントとして定着させていきたいと考えている。

MW&CFD 作文・小論文コンクール 入賞作品一覧

モビリティウィーク&カーフリーデー大賞	「路面電車と電気自動車のハイブリッド開発」 仁愛女子高校1年 赤谷恵理(あかたに えり)さん
FBC賞	「地球に優しい公共交通社会」 至民中学校 3年 飛山 遙(とびやま はるか)さん
えちぜん鉄道賞	「公共交通機関をより利用しやすく」 高志高校 1年 五十子智陽(いがっこ ちはる)さん
京福バス賞	「レッツゴーバスデー」 社中学校 1年 前田依未(まえだ えみ)さん
福井鉄道賞	「通学を通して」 藤島高校 2年 中山翔太(なかやま しょうた)さん
まちづくり福井賞	「交通機関の利用向上について」 足羽中学校 3年 川上 陽(かわかみ みなみ)さん
ふくい路面電車とまちづくりの会賞	「電車に乗ってみえるもの」 高志高校 1年 谷口絵里奈(たにぐち えりな)さん

大賞作品紹介

家族で移動する時は毎回自動車を使用します。勿論ガソリン車です。父が運転する自動車の前をバスが黒い煙を出しながら走るのをよく見かけます。父に「このクルマからも黒い煙が出ているの？」と聞くと父は「このクルマはガソリン車だから黒い煙は出ていないよ」と答えてくれました。私は安心しました。ところが「CO₂は排出している。これが問題なんだ」と話してくれました。私には何が厄介なのかあまり分かりませんが、いまこそ環境対策が必要な時期であることは十分理解しています。そこで、電気自動車の開発はかなり進んでいるようで、間もなく市販されるように聞いています。次ぎに路面電車の開発、これはどうなっているのでしょうか。私の学校の前を路面電車が走っていますが、なんとなく重苦しそうに見えます。今後の路面電車は細い道もすいすいと走っていく、そんな時代がこないでしょうか。路面電車も電気自動車のように、いつでも充電できるバッテリーを搭載し、充電は太陽光発電や地面からの誘導で常時充電するようにすれば、道路上空の電線がいらなくなります。こうすれば、道路も余分な電柱を立てずにすみ道路全体が広々と使えるのではないのでしょうか。「路面電車が走ると、道路が混雑する」と聞きますが、思い切って、路面電車が走る道路は、路面電車・歩行者・自転車専用道路とし、自動車は通行禁止とします。ケースによっては電気自動車は通行可とします。ここまで環境対策を徹底してはいかがでしょうか。路面電車の線路は都市部の隅々まで張り巡らせ、ちょっとしたお買い物でも利用できるようにするのです。老若男女問わず便利になるように。ちょっと残念なことは、都市部から外れる方々との差がつく事。この部分においては、電気自動車バスが頑張れないでしょうか。路面電車と電気自動車のハイブリッド開発で、いつまでもきれいで住みよい福井市であってほしいと思います。また、これが全国の中小都市の見本となればこれもまた嬉しいことです。

応募作品数

至民中学校	124	足羽中学校	26	社中学校	5	明道中学校	5	藤島高校	6
高志高校	186	羽水高校	4	福井商業高校	33	仁愛女子高校	292	合計	681

2 - 6 自転車の展示試乗会の開催（カーフリーデー）

9月22日のカーフリーデーを「自転車の日」とし、車から開放された1日にしよう、という取組み。街中のある一定の道路（アップルロード）に車が通らない空間「カーフリーデー・りんりん広場」をつくり、開放的な空間を体験してもらった。

話題の自転車 今乗るならこれだ！ 今買うならこれだ！

9月22日（火・国民の祝日）

場 所：アップルロード（福井西武東側道路）

車両通行止めとしてクルマが通らない状態となっています。好きな自転車でフリーに走り回れるので楽しいよ。

時間帯：10：00～17：00

< 電動アシスト自転車展示・試乗 >

自転車メーカーの協力のもと、今話題の電動アシスト自転車の展示・試乗しています。

< 優良自転車の展示・試乗 >

お値打ちで、おしゃれな自転車を展示。試乗ができるよ。ちょっとした移動も素敵な自転車であれば楽しくなるし、休日も車以外の移動で新たな自分発見だ！

ためしてガッテン！ 乗って、比べて 3人乗り自転車

< 3人乗り自転車の展示・試乗 >

幼児以下の3人乗りは法改正により一定の安全基準が必要となりました。これまでの不安定な3人乗りに仕立てた従来の自転車（公道では違法となります）と法律に準拠した3人乗り自転車の比較乗車体験をして下さい。



君の知識はもう古い！ 自転車のルールどれだけ知っている？

< 自転車関連の法改正クイズにチャレンジ！ >

自転車に関する法律や、正しい自転車の乗り方のクイズだよ。クイズ参加者にはカーフリーデーボールペン贈呈。全問正解者には、「自転車乗りの達人証」を授与。

イベント事業名	カーフリーデー・りんりん広場
内容	カーフリーデーを「自転車の日」とし、車から開放された1日にしよう、という取組み。街中のある一定の道路（アップルロード）に車が通らない空間「カーフリーデー・りんりん広場」をつくり、開放的な空間を体験してもらった。
実施日	9月22日
来訪者総数	183人
実施の効果	会場では、3人乗自転車や電動アシスト自転車などの試乗を通じてマイカー依存となっている生活を変える為の手助けとして来街者への情報提供に一役買った。3人乗自転車は子育て中のママさん中心に実際に子どもを乗車させ体験を通じて環境の意識につなげた。電動アシスト自転車は60歳前後の方の引き合いが多く試乗希望者が絶えなかった。すぐにでも購入を希望されたり、運転のしやすさを実感したりして、マイカーからの自転車へのモダシフトへの効果は大きい。



アップルロードを、クルマが通らない空間「カーフリーデー・りんりん広場」として、自転車の4つの体験、環境対策への取組み「ハチドリ計画2009」の抽選会場として開放し、クルマのない、人中心の空間を体験してもらった。

この日は、世界で2200都市以上が参加する「カーフリーデー」であることもPRし、世界共通のテーマであるCO2削減への取り組みの一端を担うことができた。

ホジロバ



あなたは、平成21年9月22日
カーフリーデー＆「自転車の日」に
開催された、自転車関連の法改正クイズなどにおいて
優秀な成績を修められたことをここに証します。

自転車乗りの達人証

NPO法人 ふくい路面電車とまちづくりの会

自転車関連法の改正に正解した人には『自転車乗りの達人証』を進呈した。これを持つことによって、自転車の乗り方やその楽しさを他の人たちにも教えてあげる役割を担ってもらう「公共交通の普及員」となってもらえることを期待している。

また、他のイベントと合わせて「ホジロバ交通の達人賞」の獲得を目指して、継続的にチャレンジしてもらう。

「クルマをおいて街へ出よう」と呼びかけても、「何で行ったらいいの?」と問いかけのある子どもを抱えたお母さん方の強い味方、公認3人乗り自転車の試乗会を通じて、いつでも気楽にクルマをおいて出かけられることを実感してもらった。

- ・夫婦で3人乗自転車試乗中
- ・電動アシスト自転車試乗中



2 - 7 実行委員会参加団体との連携した取り組み

2 - 7 - 1 バスの乗り方教室

9月20日は『バスの日』です。知っていますか？ 明治36年(1903年)9月20日、京都市で日本初めてバスの営業を行った日です。

日ごろバスを見かけても、なかなか乗る機会がなく、どのように乗ったらいいかわからないとおっしゃるあなた、これを機会に乗車体験してみませんか。

基礎講座では乗り方、応用講座では乗車マナーなどいろんな体験ができます。

場所：福井駅前 勝木書店横 受付：バスの横

日程：9月20日(日) 10:00～16:00

< 基礎講座 > 10:30～15:30 1時間おきに計6回程度受付、所要時間：10分程度

整理券取得～運賃表確認～降車ボタン～運賃支払い降車等の基本体験

初心者は、ポケットサイズの『バスの乗り方』にしたがって、乗り降りを体験します。

< 応用講座 > 11時、13時、15時の3回実施、所要時間：30分程度

家族で譲り合い乗車、お年寄りや車椅子の人たちと譲り合い乗車等の応用体験

基礎講座を卒業した者は、お年寄り役になったり、車椅子利用者役になったりして、それぞれの立場での乗り降りの際の譲り合い精神を体験します。

応用講座コース お年寄り役

高齢者擬似体験グッズを使って乗降体験

応用講座コース 車椅子利用者役

車椅子に乗って乗降体験

応用講座コース サポーター役

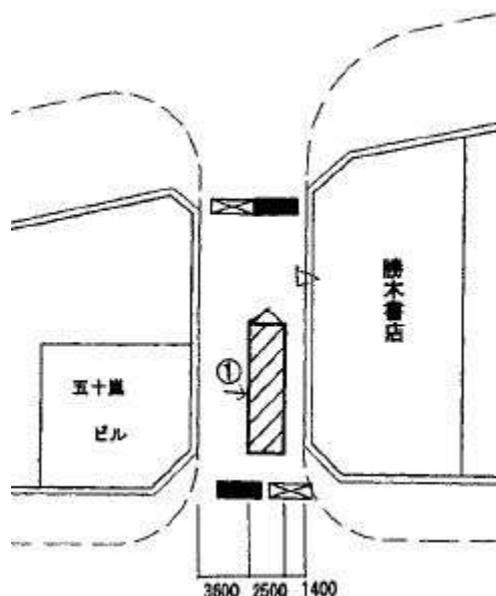
お年寄り役、車椅子利用者役の利用者をサポートする役

応用講座3コースを受講した卒業者には、『バス乗りの達人証』を発行します。

あなたも、バス乗りの達人を目指してがんばりましょう！！



日本バス協会キャラクター セバスファミリー



イベント事業名	バスの乗り方教室
内容	小学生の家族連れを中心に、路線バスの乗り方の教室を行ない、子どものうちに公共交通の抵抗感を無くし、安心して公共交通の活用ができるように実施した。
実施日	9月20日
来訪者総数	152人
実施の効果	<p>予想以上に、いろんな年齢層の方が興味を示し、参加してくれた。</p> <p>「基礎講座」は、幼児のいる家族連れが多かった。</p> <p>「応用講座」は、お年寄りグループは車椅子を使わないといけないときのために一度体験しておきたいとか、若い夫婦は将来のことも考えてとか、中学生のグループは面白そうだし一度やってみたかったと興味深そうに乘ったり押したりとか、たくさんの方がバスへの関心を示してくれ、収穫は多かった。</p>



『基礎講座』では、小さな子どもたちがバスの乗り降りの初体験をして、いつものクルマでのお出かけとは違った、楽しい経験をした。これが将来大きくなってから、バス電車利用への抵抗が軽減され、クルマに頼らない移動を考えることにつながるだろう。将来的なCO2削減効果が期待できる。



基礎講座に参加してくれた、「ピントン」も子どもたちといっしょに乗車体験し、そのあとのTV番組でも引き続き紹介してくれ、公共交通への子どもたちの関心を高めてくれた。



『応用講座』では、中学生が高齢者疑似体験用の重りをつけてみたり、車椅子での乗車を自分たちでサポートしたりして、自由な移動ができない人たちに対して積極的に取り組みたいと感想を述べており、移動の不自由な人たちの公共交通利用を支援することにつながっていくことが期待できる。近い将来マイカーを使うことになるが、いまのうちからバスに親しんでおくことによりバスへの抵抗感がなくなりバス利用の可能性は飛躍的に高まり、CO2削減効果は大きい。



若い夫婦も、自分たちの将来のことや、親の将来のことを考えて、いつでもどんなときでもこんな風に、バスでの移動が便利で、利用しやすくなったらいいなと言いながら、体験していた。

自分で体験することにより、他人に伝えることが出来る。このような地道な事業がCO2削減に寄与するものと確信している。

ホジロバ



あなたは、平成21年9月20日「バスの日」に開催された、バスの乗り方教室応用講座において
①お年寄り役、②車椅子利用者役、③サポーター役
を優秀な成績で修了したことをここに証します。

バス乗りの達人証

NPO法人 ふくい路面電車とまちづくりの会

応用講座を修了した人には『バス乗りの達人証』を進呈した。これを持つことによって、バスの乗り方やその楽しさを他の人たちにも教えてあげる役割を担ってもらい「公共交通の普及員」となってもらえることを期待している。

また、他の22日の『自転車乗りの達人証』などと合わせて「ホジロバ交通の達人賞」の獲得を目指して、継続的にチャレンジしてもらおう。

2 - 7 - 2 子供料金割引とモビリティ・クエスト

2 - 7 - 3 ハチドリ計画